



2025年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年10月15日

東

上場会社名 株式会社鉄人化ホールディングス 上場取引所
コード番号 2404 URL <http://www.tetsujin.ne.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 根来 拓也
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 浦野 敏男 (TEL) 03-3793-5117
定時株主総会開催予定日 2025年11月27日 配当支払開始予定日 —
有価証券報告書提出予定日 2025年11月28日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年8月期の連結業績(2024年9月1日～2025年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期	8,043	13.8	211	204.9	264	626.2	335	—
2024年8月期	7,069	7.2	69	—	36	862.6	4	△27.6

(注) 包括利益 2025年8月期 345百万円(—%) 2024年8月期 4百万円(396.0%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年8月期	25.40	25.26	78.7	6.0	2.6
2024年8月期	0.30	0.30	1.9	0.8	1.0

(参考) 持分法投資損益 2025年8月期 ー百万円 2024年8月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年8月期	4,503	656	14.3	48.06
2024年8月期	4,326	223	4.9	16.02

(参考) 自己資本 2025年8月期 642百万円 2024年8月期 211百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年8月期	681	△166	△274	979
2024年8月期	425	△221	△346	738

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年8月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00		—	

3. 2026年8月期の連結業績予想(2025年9月1日～2026年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,177	1.7	314	49.1	303	14.8	378	12.7	27.39

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 2社(社名) 株式会社鳥竹、ミライアミューズ株式会社、除外 1社(社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示に関する注記

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年8月期	13,817,362株	2024年8月期	13,647,362株
② 期末自己株式数	2025年8月期	457,300株	2024年8月期	459,100株
③ 期中平均株式数	2025年8月期	13,219,271株	2024年8月期	13,186,363株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年8月期の個別業績(2024年9月1日~2025年8月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期	467	20.5	76	405.4	31	△75.8	211	78.3
2024年8月期	388	△90.6	15	—	131	—	118	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年8月期	15.98		15.90					
2024年8月期	8.98		8.95					

個別経営成績に関する注記

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2025年8月期	3,902		△113		△3.3		△9.53	
2024年8月期	3,271		△412		△13.0		△32.21	

(参考) 自己資本 2025年8月期 △127百万円 2024年8月期 △424百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(会計方針の変更)	12
(セグメント情報等)	13
(収益認識関係)	14
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、高水準での賃金上昇の継続による個人消費の持ち直し、インバウンド需要の回復・拡大、並びに企業による設備投資の堅調な推移を背景として、全体として緩やかな回復基調で推移いたしました。

一方で、先行きについては、物価上昇の継続やエネルギー・原材料価格の高止まりが消費者マインドを下押しし、個人消費の慎重な姿勢が見られるほか、米国の関税政策の影響が懸念されるなど、依然として不透明感を伴う状況が続いております。

当社グループが展開する店舗系サービス事業におきましては、原材料・仕入・物流価格の上昇や賃金上昇と人手不足が顕在化しており、店舗運営に厳しい環境が続いております。

このような状況下において、当社グループは経営資源の効率的な活用を通じて企業価値の最大化を図るとともに、コロナ禍による既存事業の業績低下という過大な影響を踏まえ、複数事業を保有することによるリスク分散を推進しております。これに伴い、事業ポートフォリオの見直しを適宜実施しております。

当連結会計年度においては、「スクラップ＆ビルド」戦略のもと、収益性が見込まれる事業への積極的な投資を行いました。さらに、AIの活用による業務効率化及び人的生産性の向上を図るとともに、データドリブン型の取り組みを推進しております。

これらの結果、当連結会計年度の業績は、売上高8,043百万円（前年同期比13.8%増）、営業利益211百万円（前年同期比204.9%増）、経常利益264百万円（前年同期比626.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益335百万円（前年同期親会社株主に帰属する当期純利益4.0百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

【カラオケルーム運営事業】

当連結会計年度におけるカラオケルーム運営事業の売上高は3,868百万円（前年同期比0.8%増）、セグメント利益は638百万円（前年同期比39.8%増）となりました。

カラオケルーム運営事業は子会社である株式会社鉄人エンタープライズが「カラオケの鉄人」をブランドとしたカラオケ店（東京都22店舗、神奈川県10店舗、千葉県1店舗、愛知県1店舗、大阪府1店舗、愛媛県1店舗、福岡県1店舗）を運営しております。

カラオケ需要は個人利用やビジネス利用において回復傾向が見られる一方、二次会利用や深夜時間帯の利用は依然として減少傾向が続いております。こうした市場環境の中、首都圏におけるカラオケ店舗の利用料金は、エネルギーコストや人件費の高騰、テナント賃料の上昇などを背景に、緩やかな上昇傾向を示しております。

主要チェーン店においては、利用者ニーズに応じたサービスの強化が進んでおり、最新機種を導入、持ち込み可能店舗の増加、学生向け無料プランの展開など、競争が激化する中で厳しい営業環境が続いております。

当社グループでは、運営面において効率的な人員体制の構築及び運営コストの削減に取り組み、収益性の改善を図ったことで、大幅な増益となりました。営業面では、アニメ・ゲーム等のコンテンツとのコラボレーション企画に特化した「カラオケの鉄人コラボミックス」の展開を推進しており、今後も地方都市を中心とした出店を計画しております。

比較可能な既存店※は32店舗で売上高は前年同期比99.5%となりました。

【飲食事業】

当連結会計年度における飲食事業の売上高は1,952百万円（前年同期比61.7%増）、セグメント利益は115百万円（前年同期比104.9%増）となりました。

飲食事業は、子会社である株式会社直久が運営する「直久」をブランドとしたラーメン店舗（直営7店舗、F C 3店舗、業務受託1店舗）と焼き鳥専門店「鳥竹」を主力とするほか、フランチャイジー店舗として「赤から」3店舗、「京都勝牛」、「かにざんまい」、「福包酒場」を運営しております。

当事業においては、日常的な外食需要の回復に加え、インバウンド需要の増加が寄与し、堅調な業績推移となりました。また、当連結会計年度より新たに「鳥竹」がグループに加わったことにより、売上・利益ともに大幅な増加を達成いたしました。

さらに、ラーメン業態においては、工場生産による材料のOEM化を推進し、生産体制の効率化及びコスト構造の見直しに取り組みました。

比較可能な直営・既存店※は10店舗1事業所で売上高は前年同期比105.0%となりました。

【美容事業】

当連結会計年度における美容事業の売上高は1,901百万円（前年同期比6.6%増）、セグメント利益は88百万円（前年同期比30.2%減）となりました。

美容事業は、中京エリアを商圈とする株式会社Rich to（9店舗）と首都圏エリアを主な商圈とするピアンカグループ（首都圏エリア：46店舗、中京エリア：2店舗）により運営しております。

当事業においては、収益性を重視した運営方針のもと、当連結会計年度において5店舗の新規出店と3店舗の閉店（1店舗は移転）を実施いたしました。併せて、スタイリストの採用（新卒・中途）及び教育を重点戦略として推進

しており、2025年4月入社の新卒採用においては、前期を大幅に上回る100名の採用を実施いたしました。

収益面では、売上は増加したものの、先行投資として人員体制の強化を図ったことによりコストが増加し、結果として減益となりました。

今後も当事業では、積極的な出店戦略を継続するとともに、教育面においては技術研修の充実やお客様サービスの向上に取り組み、「Rich to」及び「Bianca」両ブランドの価値向上と認知拡大を図ってまいります。

比較可能な既存店※は48店舗で売上高は前年同期比100.9%となりました。

【メディア・コンテンツ企画事業】

当連結会計年度におけるメディア・コンテンツ企画事業の売上高は58百万円（前年同期比11.8%減）、セグメント利益は48百万円（前年同期比14.0%減）となりました。

子会社である株式会社鉄人エンタープライズが「カラオケの鉄人モバイル」サイトを中心に運営を行っておりますが、スマートフォンでの利用者の減少傾向により減収・減益となっております。

【その他】

当連結会計年度におけるその他の売上高は261百万円（前年同期比46.8%増）、セグメント損失は177百万円（前年同期セグメント損失144百万円）となりました。

当期よりダンス・ヨガ・トレーニング等での利用を目的としたレンタルスペース事業を開始し、首都圏エリアを営業拠点（首都圏6店舗）として、積極的な拠点拡大に取り組んでおります。

※比較可能な既存店とは、営業開始後12ヶ月を経過して営業を営んでいる店舗で前年対比が可能なものをいいます。

（2）当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末における総資産は前連結会計年度末に比較して177百万円増加し、4,503百万円となりました。流動資産は1,754百万円となり176百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金等が240百万円増加、売掛金が29百万円増加、未収消費税等が81百万円、原材料及び貯蔵品が29百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は2,749百万円となり1百万円増加いたしました。主な要因は、繰延税金資産が196百万円増加、有形固定資産が168百万円減少、のれんが2百万円減少及び差入保証金が39百万円減少したこと等によるものであります。

（負債）

当連結会計年度末における負債は前連結会計年度末に比較して254百万円減少し、3,847百万円となりました。流動負債は1,835百万円となり249百万円減少いたしました。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が7百万円増加し、未払消費税等が58百万円、短期借入金が322百万円減少、未払費用が74百万円、未払法人税等が23百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は2,012百万円となり5百万円減少いたしました。主な要因は、退職給付引当金が27百万円、預り保証金が8百万円、長期借入金が2百万円増加し、資産除去債務が32百万円、長期リース債務が4百万円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産は前連結会計年度末に比較して432百万円増加し、656百万円となりました。主な要因は、新株予約権行使による資本金及び資本剰余金がそれぞれ42百万円増加、利益剰余金に含まれる親会社株主に帰属する当期純利益335百万円と新株予約権、為替換算調整勘定等によるものであります。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末に比較して240百万円増加し、979百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は681百万円（前連結会計年度は425百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益231百万円、移転補償金267百万円、助成金等収入75百万円等による増加と、減価償却費155百万円、減損損失329百万円等による減少によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は166百万円（前連結会計年度は221百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出372百万円、資産除去債務の履行による支出13百万円と、差入保証金の返還による収入85百万円、保険積立金の解約による収入151百万円等による収入の増加によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は274百万円（前連結会計年度は346百万円の減少）となりました。これは主に、短期借入金の純増減額の減少323百万円、長期借入金による収入533百万円、長期借入金の返済557百万円、株式の発行による収入85百万円によるものです。

(4) 今後の見通し

当社グループの業績は、事業規模の観点からカラオケルーム運営事業への依存度が高くなっております。当該事業は、忘年会・新年会等による需要が集中する第2四半期、及び歓送迎会等による需要が高まる第3四半期に売上が偏重する傾向があるため、各四半期連結会計期間の業績が必ずしも通期業績と連動するものではありません。

当社グループでは、コロナ禍において業績に大きな影響を受けた同一業種への過度な依存から脱却し、収益構造の改善を図るべく、複数事業を保有することでリスク分散を推進しております。この方針に基づき、M&Aを積極的に検討しておりますが、投資先事業の収益が想定を下回った場合には、当社グループ全体の業績に影響を受ける可能性があります。

以上を踏まえた2026年8月期の業績予想は、以下のとおりです。

- ・カラオケルーム運営事業

将来的に持続的収益が見込まれる店舗に対し、積極的な設備投資を実施してまいります。また、コラボレーション企画に特化したカラオケ店舗「カラオケの鉄人 コラボミックス」の全国展開を推進することで、事業収益の拡大を図ってまいります。さらに、「プラスK」戦略として、多層階で運営するカラオケ店舗に他事業を組み合わせることで、収益力の強化を図ってまいります。

- ・飲食事業

新規出店を通じて、事業収益の拡大を図ってまいります。

- ・美容事業

積極的な出店を継続するとともに、スタイリストの採用（新卒・中途）及び技術教育の強化により、事業収益の向上を図ってまいります。

- ・メディア・コンテンツ企画事業

スマートフォンでの利用者の減少傾向を受け、当期同等程度の減収・減益を見越しております。

- ・その他

当連結会計年度より開始した、ヨガ・トレーニング等の利用を目的としたレンタルスペース事業について、積極的に推進してまいります。

以上により、次期の業績見通しにつきましては、通期で売上高8,177百万円（前年同期比1.7%増）、営業利益314百万円（前年同期比49.1%増）、経常利益303百万円（前年同期比14.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益378百万円（前年親会社株主に帰属する当期純利益335.0百万円）を見込んでおります。

※当該業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき当社グループが判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績はこれと異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、日本国内を主たる事業の活動地域としていること、連結財務諸表の期間比較可能性を確保すること等を考慮し、日本基準を採用しております。今後の国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、当社グループの事業展開や国内外の諸情勢を踏まえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当連結会計年度 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	738,605	979,168
売掛金	330,236	359,532
商品及び製品	40,082	38,782
原材料及び貯蔵品	90,568	61,345
前払費用	194,889	188,110
未収還付法人税等	2,920	7,764
未収消費税等	81,505	630
その他	101,667	124,302
貸倒引当金	△2,974	△5,600
流動資産合計	1,577,500	1,754,036
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,684,915	2,488,071
減価償却累計額	△1,658,763	△1,638,510
建物及び構築物（純額）	1,026,151	849,561
機械及び装置	7,513	233
減価償却累計額	△4,905	△233
機械及び装置（純額）	2,608	0
車両運搬具	4,209	5,467
減価償却累計額	△4,209	△5,467
車両運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品	1,095,152	1,098,291
減価償却累計額	△1,009,795	△1,016,987
工具、器具及び備品（純額）	85,356	81,303
土地	327,468	171,914
リース資産	63,854	18,609
減価償却累計額	△46,163	△9,225
リース資産（純額）	17,690	9,383
建設仮勘定	12,903	191,705
有形固定資産合計	1,472,178	1,303,869
無形固定資産		
のれん	66,839	64,434
その他	14,391	18,613
無形固定資産合計	81,230	83,048
投資その他の資産		
繰延税金資産	2,550	199,249
差入保証金	1,173,129	1,134,120
その他	22,950	32,917
貸倒引当金	△3,290	△3,292
投資その他の資産合計	1,195,339	1,362,994
固定資産合計	2,748,748	2,749,912
資産合計	4,326,248	4,503,948

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当連結会計年度 (2025年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	137,915	140,850
短期借入金	600,000	277,800
1年内返済予定の長期借入金	519,028	526,474
リース債務	8,924	4,203
未払金	51,396	49,114
未払費用	466,421	540,563
未払法人税等	28,063	51,366
前受金	7,916	12,152
資産除去債務	—	6,477
賞与引当金	25,936	34,716
ポイント引当金	18,652	16,898
未払消費税等	159,318	100,935
その他	61,410	73,666
流動負債合計	2,084,984	1,835,219
固定負債		
長期借入金	1,505,615	1,508,363
退職給付引当金	—	27,788
リース債務	11,653	7,243
資産除去債務	419,560	386,914
その他	80,910	82,341
固定負債合計	2,017,738	2,012,651
負債合計	4,102,723	3,847,870
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	92,741
資本剰余金	151,146	193,170
利益剰余金	189,797	525,519
自己株式	△170,067	△169,400
株主資本合計	220,876	642,031
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△9,541	—
その他の包括利益累計額合計	△9,541	—
新株予約権	12,190	14,046
純資産合計	223,525	656,077
負債純資産合計	4,326,248	4,503,948

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
売上高	7,069,182	8,043,054
売上原価	6,081,654	6,885,243
売上総利益	987,528	1,157,811
販売費及び一般管理費	918,272	946,646
営業利益	69,256	211,164
営業外収益		
受取利息	69	989
受取賃貸料	—	13,500
受取保険金	6,184	3,298
助成金収入	41,554	85,805
その他	24,188	20,716
営業外収益合計	71,996	124,310
営業外費用		
支払利息	33,340	43,952
支払手数料	69,304	9,914
為替差損	718	—
その他	1,445	16,933
営業外費用合計	104,808	70,800
経常利益	36,444	264,674
特別利益		
固定資産売却益	883	31,377
資産除去債務戻入益	258	16,104
新株予約権戻入益	1,534	117
固定資産権利変換益	—	82,228
移転補償金	—	264,866
特別利益合計	2,676	394,693
特別損失		
店舗閉鎖損失	1,502	2,334
減損損失	1,925	329,546
固定資産除売却損	2,431	3,136
固定資産圧縮損	—	81,636
棚卸資産評価損	—	10,676
為替換算調整勘定取崩損	—	76
特別損失合計	5,859	427,406
税金等調整前当期純利益	33,262	231,961
法人税、住民税及び事業税	27,607	49,865
法人税等調整額	1,635	△153,626
法人税等合計	29,243	△103,760
当期純利益	4,019	335,722
親会社株主に帰属する当期純利益	4,019	335,722

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
当期純利益	4,019	335,722
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	806	9,541
その他の包括利益合計	806	9,541
包括利益	4,825	345,264
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	4,825	345,264
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	50,000	151,037	185,778	△170,882	215,933	△10,348	△10,348	14,647	220,232
当期変動額									
新株の発行					—				—
連結範囲の変動					—				—
自己株式の処分		109		814	924				924
親会社株主に帰属する当期純利益			4,019		4,019				4,019
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						806	806	△2,456	△1,650
当期変動額合計	—	109	4,019	814	4,943	806	806	△2,456	3,292
当期末残高	50,000	151,146	189,797	△170,067	220,876	△9,541	△9,541	12,190	223,525

当連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	50,000	151,146	189,797	△170,067	220,876	△9,541	△9,541	12,190	223,525
当期変動額									
新株の発行	42,741	42,741			85,483				85,483
連結範囲の変動		△807			△807				△807
自己株式の処分		89		666	756				756
親会社株主に帰属する当期純利益			335,722		335,722				335,722
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						9,541	9,541	1,855	11,397
当期変動額合計	42,741	42,023	335,722	666	421,154	9,541	9,541	1,855	432,552
当期末残高	92,741	193,170	525,519	△169,400	642,031	—	—	14,046	656,077

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	33,262	231,961
減価償却費	157,119	155,371
減損損失	1,925	329,546
資産除去債務戻入益	—	△16,104
固定資産権利変換益	—	△82,228
固定資産圧縮損	—	81,636
移転補償金	—	△264,866
のれん償却額	29,840	36,531
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,053	2,627
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	49	△1,753
受取利息及び受取配当金	△69	△989
支払利息	33,340	43,952
支払手数料	69,304	9,914
為替換算調整勘定取崩損	—	76
為替差損益 (△は益)	718	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△60,796	△13,130
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△15,287	31,434
仕入債務の増減額 (△は減少)	18,613	△4,004
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,150	5,880
棚卸資産評価損	—	10,676
新株予約権戻入益	△1,534	△117
助成金収入	△41,554	△85,805
受取保険金	△6,184	△3,298
有形固定資産除売却損益 (△は益)	1,547	△28,240
店舗閉鎖損失	1,502	2,334
未払又は未収消費税等の増減額	11,073	51,772
その他	180,772	△80,002
小計	420,847	413,173
利息及び配当金の受取額	69	989
利息の支払額	△30,941	△41,460
法人税等の支払額	△107,110	△40,744
法人税等の還付額	92,510	3,574
助成金の受取額	44,341	75,807
保険金の受取額	6,184	3,298
収用補償金の受取額	—	267,015
営業活動によるキャッシュ・フロー	425,900	681,654

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
店舗閉鎖等による支出	△1,463	—
長期前払費用の取得による支出	△25,447	△31,051
有形固定資産の取得による支出	△204,213	△372,593
有形固定資産の売却による収入	883	39,138
無形固定資産の取得による支出	△150	△7,485
貸付けによる支出	△362	△341
貸付金の回収による収入	1,394	—
資産除去債務の履行による支出	△13,988	△13,949
差入保証金の差入による支出	△12,742	△38,637
差入保証金の回収による収入	34,602	85,599
保険積立金の解約による収入	—	151,013
投資その他の資産の増減額（△は増加）	110	52,554
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△30,701
投資活動によるキャッシュ・フロー	△221,377	△166,455
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,697,000	533,000
長期借入金の返済による支出	△2,542,951	△557,570
支払手数料の支払額	△71,354	△6,611
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	85,483
短期借入金の純増減額（△は減少）	600,000	△323,200
自己株式の処分による収入	2	1
新株予約権の発行による収入	—	3,390
その他	△28,774	△9,130
財務活動によるキャッシュ・フロー	△346,077	△274,636
現金及び現金同等物に係る換算差額	△195	—
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△141,749	240,562
現金及び現金同等物の期首残高	880,355	738,605
現金及び現金同等物の期末残高	738,605	979,168

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2024年12月5日に第14回新株予約権を発行しております。当連結会計年度において2025年5月9日に第14回新株予約権行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ15,103千円増加しました。

また、2024年12月5日に第15回新株予約権を発行しております。当連結会計年度において2025年8月12日に第15回新株予約権一部行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ27,638千円増加しました。

この結果、当連結会計年度末において、資本金が92,741千円、資本剰余金が193,170千円となっております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループでは、顧客に対するサービスの内容により、事業を「カラオケルーム運営事業」「飲食事業」「美容事業」「メディア・コンテンツ企画事業」に区分し、それぞれの事業で戦略を策定し、事業を展開しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債、その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部利益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務 諸表計上 額(注) 3
	カラオケ ルーム運 営事業	飲食事業	美容事業	メディア ・ コンテン ツ企画事 業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	3,835,055	1,207,466	1,782,183	66,148	6,890,853	178,328	7,069,182	—	7,069,182
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,835,055	1,207,466	1,782,183	66,148	6,890,853	178,328	7,069,182	—	7,069,182
セグメント利益 又は損失(△)	456,511	56,204	126,687	56,368	695,772	△144,972	550,800	△481,544	69,256

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「アニメ等コラボレーション事業」等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△481,544千円には、各報告セグメントに配賦していない全社費用△481,544千円が含まれており、これは主に親会社本社のグループ管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務 諸表計上 額(注) 3
	カラオケ ルーム運 営事業	飲食事業	美容事業	メディア ・ コンテン ツ企画事 業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	3,868,496	1,952,931	1,901,398	58,316	7,781,142	261,911	8,043,054	—	8,043,054
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,868,496	1,952,931	1,901,398	58,316	7,781,142	261,911	8,043,054	—	8,043,054
セグメント利益 又は損失(△)	638,557	115,198	88,357	48,474	890,587	△177,474	713,113	△501,948	211,164

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「アニメ等コラボレーション事業」等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△501,948千円には、各報告セグメントに配賦していない全社費用△501,948千円が含まれており、これは主に親会社本社のグループ管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社は、カラオケルーム運営事業を主たる事業としており、一般のカラオケルームでの楽曲・飲食サービス提供の他、アニメ作品等とコラボレーションしたカラオケルーム運営をしております。その他、ラーメン店を主体とした飲食事業、まつ毛エクステンション&ネイルを主体とした美容事業、着メロ等の配信を行うメディア・コンテンツ企画事業を事業ドメインとして運営しております。

前連結会計年度（自 2023年9月1日 至 2024年8月31日）

（単位：千円）

報告セグメント	契約区分	売上高	構成比
カラオケルーム運営事業	カラオケルーム売上	3,447,398	48.8%
	コラボルーム売上	387,656	5.5%
飲食事業	店舗販売	1,039,885	14.7%
	卸売	69,365	1.0%
	F C	98,216	1.4%
美容事業	施術サービス	1,673,473	23.7%
	物販	107,700	1.5%
	卸売	1,009	0.0%
メディア・コンテンツ企画事業		66,148	0.9%
その他		178,328	2.5%
顧客との契約から生じる収益		7,069,182	100.0%
その他の収益		—	—%
外部顧客への売上高		7,069,182	100.0%

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「アニメ等コラボレーション事業」等を含んでおります。

当連結会計年度（自 2024年9月1日 至 2025年8月31日）

（単位：千円）

報告セグメント	契約区分	売上高	構成比
カラオケルーム運営事業	カラオケルーム売上	3,227,355	40.1%
	コラボルーム売上	641,140	8.0%
飲食事業	店舗販売	1,835,468	22.8%
	卸売	36,473	0.5%
	F C	80,990	1.0%
美容事業	施術サービス	1,780,500	22.1%
	物販	115,488	1.4%
	卸売	5,408	0.1%
メディア・コンテンツ企画事業		58,316	0.7%
その他		261,911	3.3%
顧客との契約から生じる収益		8,043,054	100.0%
その他の収益		—	—%
外部顧客への売上高		8,043,054	100.0%

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「アニメ等コラボレーション事業」等を含んでおります。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
1株当たり純資産額 16.02円	1株当たり純資産額 48.06円
1株当たり当期純利益金額 0.30円	1株当たり当期純利益金額 25.40円
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額 0.30円	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額 25.26円

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後算1株当たり当期純利益金額定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
1株当たり当期純利益金額又は当期純損失(△)	0.30円	25.40円
親会社株主に帰属する当期純利益金額又は 当期純損失(△)(千円)	4,019	335,722
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金 額又は当期純損失(△)(千円)	4,019	335,722
期中平均株式数(株)	13,186,363	13,219,271
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	0.30	25.26円
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	47,857	69,388
(うち新株予約権)	47,857	69,388
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当 たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概 要	—	—

(重要な後発事象)

(固定資産の譲渡)

当社は、2025年9月18日開催の取締役会において、以下のとおり、当社並びに当社の完全子会社（株式会社鉄人エンタープライズ）の固定資産を譲渡することについて決議し、同日付で契約を締結し、固定資産を譲渡いたしました。

1. 譲渡の理由

当社グループは、経営資源の効率的な活用により企業価値の最大化を図るべく、また、コロナ禍での既存事業への過大な影響を背景に複数事業を持つことでのリスク分散を図っており、適宜、事業ポートフォリオの見直しを実施しております。この度、一部の運営店舗からの撤退により該当事業の収益性を改善させることを目的として、下記のとおり固定資産を譲渡することにいたしました。

2. 当該子会社の概要

(1) 名称	株式会社鉄人エンタープライズ
(2) 所在地	東京都目黒区碑文谷五丁目15番1号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 兒玉 智之
(4) 事業内容	カラオケルーム運営事業並びに飲食店運営事業
(5) 資本金	900万円
(6) 設立年月日	2019年11月15日
(7) 大株主及び持株比率	株式会社鉄人化ホールディングス：100%

3. 譲渡資産の内容

譲渡資産は、カラオケ店等の店舗造作等設備であります。一部の店舗で当社と該当子会社で資産をそれぞれ所有している店舗があります。また、下記店舗につきましては、当社グループが撤退した後、居抜きの状態で譲渡先が新たにカラオケ店舗事業を運営する予定となっております。

(1) 株式会社鉄人化ホールディングス

資産の名称	資産の所在地	現況
店舗造作等設備	東京都台東区上野6-13-5 上野エイトビル 1F・3F-5F	カラオケの鉄人上野店
店舗造作等設備	東京都新宿区高田馬場1-26-12 高田馬場ビル B1F	カラオケの鉄人高田馬場店
店舗造作等設備	東京都新宿区歌舞伎町1-18-3 ニューシオンビル B1F-5F	カラオケの鉄人新宿歌舞伎町一番街店
店舗造作等設備	神奈川県川崎市川崎区砂子2-3-8 コジマビル 1F-3F	カラオケの鉄人川崎銀柳街店

(2) 株式会社鉄人エンタープライズ

資産の名称	資産の所在地	現況
店舗造作等設備	東京都新宿区神楽坂2-10 カグラヒルズ3F	カラオケの鉄人飯田橋神楽坂店
店舗造作等設備	東京都台東区上野6-13-5 上野エイトビル 1F・3F-5F	カラオケの鉄人上野店
店舗造作等設備	東京都新宿区高田馬場1-26-12 高田馬場ビル B1F	カラオケの鉄人高田馬場店
店舗造作等設備	東京都新宿区歌舞伎町1-18-3 ニューシオンビル B1F-5F	カラオケの鉄人新宿歌舞伎町一番街店
店舗造作等設備	東京都足立区竹の塚1-41-10 T・スクエアビル 2F	カラオケの鉄人竹ノ塚店
店舗造作等設備	神奈川県川崎市川崎区砂子2-3-8 コジマビル 1F-3F	カラオケの鉄人川崎銀柳街店
店舗造作等設備	東京都新宿区歌舞伎町1-18-3 ニューシオンビルB1F、1F	福包酒場新宿店

譲渡価額	帳簿価額(2025年8月末)	譲渡益
292百万円	49百万円	228百万円

※1. 譲渡益は、譲渡価額から帳簿価額と譲渡に係る諸経費等予定額を加減算した概算額であります。

2. 譲渡価額、帳簿価額、譲渡益は当社及び当社の完全子会社(株式会社鉄人エンタープライズ)を合算した金額であります。

4. 譲渡先の概要

(1) 名称	株式会社シン・コーポレーション	
(2) 所在地	東京都港区東新橋一丁目9番1号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 川口 範	
(4) 事業内容	カラオケ施設等アミューズメント事業	
(5) 資本金	1,000百万円	
(6) 設立年月日	1989年6月14日	
(7) 大株主及び持株比率	株式会社GENDA:100%	
(8) 直前事業年度の総資産額	10,997百万円	
(9) 直前事業年度の純資産額	1,469百万円	
(10) 当社との関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	2024年12月に2店舗、2025年4月に各1店舗のカラオケ店舗設備を譲渡しております。

5. 譲渡の日程

取締役会決議日 2025年9月18日

譲渡契約締結日 2025年9月18日

譲渡資産引渡日 2025年10月1日

6. 今後の見通し

当該固定資産譲渡に伴い、2025年8月期連結業績への影響はありません。

(資金の借入)

1. 借入の目的

当社グループ各社の運転資金への充当を行うことを目的に、金融機関より資金の借入を行うものです。

2. 借入の概要

借入先	朝日信用金庫
借入金額	100,000,000円
借入金利	変動金利 当初1.575%
借入期間	1年 ※期日到来前に新たな手形借入契約を締結し、借入継続をいたします。
借入実行日	2025年9月30日
返済方法	期限一括返済
担保・保証	無担保・無保証

3. 業績への影響

2026年8月期における当社連結業績に与える影響はありません。